



特集

# 使わなければただの紙 使いこなせば守りがみ

災害を減らすことはできませんが、被害を減らすことはできます。そのために活用してほしいのが、「ハザードマップ」です。

**問い合わせ** 危機管理課 (☎35-0923)

近年、「記録的」「想定外」などの表現がテレビや新聞に取り上げられているように、これまで経験したことのないような大規模な災害が、全国的に発生しています。

私たちは、常に自然の恐ろしさと隣り合わせで暮らしています。大雨による床上・床下浸水や、地震による建物の倒壊など、大切な財産が被害を受け、自身や家族の命に危険が及ぶといった状況も起こりうることを理解する必要があります。

昨年度、市のハザードマップが新しくなり、想定しうる最大規模である概ね1000年に1度程度の大雨が降った際の浸水想定区域が示されています。また、土砂災害や液状化などの危険な場所を示す地図や、災害時に役立つ情報も掲載されています。今回は、新たに追加された避難行動について解説し、どのように活用すれば、単なる本で終わらせないかを紹介します。

## ハザードマップ活用法 その1 菊川市マイ・タイムライン

台風など大雨が予想される際に、自分自身がとるべき避難行動を時系列的に整理するものです。大規模な風水害を想定し、慌てずに安全な避難ができるように、平时に家族と話し合い、万が一に役立てましょう。マイ・タイムラインの作成方法など詳細は、市ホームページ(右記)をご覧ください。

